

「チーム担任制」のメリットについて

令和2年度の学校評価アンケートの結果から、課題と考えられる内容を抜粋しましたのでご覧ください。(詳細は、学校HPに掲載しています。)

※数値は1～3年生の「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の%です。

1〔生徒アンケートより〕

「いいえ」の回答

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ①テストでは、思い通りの点数が取れている。 | 65.1% |
| ②自分には、よいところがある。 | 28.0% |
| ③物事がうまくいかない時、粘り強くがんばり続けることができる。 | 26.9% |
| ④先生は、困ったり、悩んだりしたときに相談にのってくれる。 | 25.2% |
| ⑤学校へ行くのが楽しい。 | 25.2% |
| ⑥自分で考えて、家庭学習をしている。 | 21.5% |
| ⑦インターネットやゲーム等の利用はルールを決めて使用している。 | 31.4% |
| ⑧夢や目標をもち、その実現に向けて努力を続けている。 | 25.5% |
| ⑨勉強や運動等で、友人から認められていると思う。 | 36.3% |
| ⑩自分は友達や学級の仲間のために、役に立つ行動ができています。 | 32.6% |

2〔保護者アンケートより〕

「いいえ」の回答

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ①子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。 | 30.5% |
| ②学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる。 | 30.3% |
| ③子どもは、家庭学習(宿題)をきちんとしている。 | 28.8% |
| ④子どもは、自分のいいところを理解している。 | 23.7% |
| ⑤子どもは、何事にも粘り強く取り組む。 | 37.6% |
| ⑥子どもはインターネットやゲームをルールを守り適切に使用している。 | 39.9% |
| ⑦子どもは、学校のことをよく話してくれる。 | 24.3% |
| ⑧学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる。 | 24.4% |
| ⑨学校から、教育活動全般に関する情報が十分に発信されている。 | 29.5% |
| ⑩学校行事やPTA活動などに積極的に参加している。 | 59.3% |
| ⑪先生は、指導方法を工夫し、わかりやすい授業を行っている。 | 33.4% |
| ⑫子どもの学力は向上している。 | 49.7% |
| ⑬子どもは夢や目標をもち、その実現に向けて努力を続けている。 | 31.3% |

3〔教職員アンケートより〕

「いいえ」の回答

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ①今年度の教育重点目標を家庭や地域に周知を図る努力をしている。 | 28% |
| ②思考力・判断力等を重視した問題解決的な学習が展開できている。 | 24% |
| ③コンピュータをはじめ、ICT機器が授業等で活用されている。 | 20% |

前述のアンケート結果から、本校の主な課題を抽出すると、次のようになります。

- 課題1 学力向上に向けての取組が十分ではない。
- 課題2 自分の良さを自覚したり、他者から認められたりする経験が少ない。
- 課題3 学校の教育活動の情報が、十分に保護者に伝わっていない。
- 課題4 明確に自分の夢や目標をもち、その実現に向けて粘り強く努力を積み重ねる力が十分ではない。
- 課題5 教育相談の機会が十分に作れていない。

このような課題を解決するために「チーム担任制」をはじめ、さまざまな取組を行っています。

一人ひとりの教員にも、それぞれ得意分野があります。「教科授業の構成力に長けた教員」「ICTの活用に長けた教員」「人権学習の経験値が高い教員」「保護者との連携に長けた教員」「生徒指導の課題に素早く対応できる教員」など、さまざまな個性を持つ松茂中学校の教員の持ち味(強み)をチームで生かし合うことが、生徒にとっての大きな成長につながる仕組みであると考えます。

それはそのまま本校の教育の質の向上につながり、ひいては松茂中の生徒の学校生活の充実や学力向上につながると考え、チーム担任制を導入しました。



チーム担任制のメリットを整理すると、次のようなことが挙げられます。

まず、生徒・保護者にとっては、

- ①様々な目で学級の一人一人の生徒を見るため、変化に気づく機会が増えます。
- ②生徒・保護者が多くの先生方と人間関係を築く機会が増えます。
- ③担任の誰かが出張等で不在でも、基本的な担任業務に支障がありません。
- ④教育上の相談がチームで日常的にできるので、常に安心できる教育環境を提供できます。
- ⑤保護者のみなさまからの相談も複数でお受けでき、深刻化を防ぐことができます。

また、学校・教師にとっては、

- ①ベテランと若手の組み合わせにより教師の資質向上を図ることができます。
- ②教師自身の学校運営・学級経営への参画意識が向上し「学校力」が向上します。
- ③教師の得意分野を生かし合う仕組みができ、魅力的な学校づくりにつながります。



一方で、次のようなチーム担任制のデメリットや不安な点も挙げられました。

- ①生徒や保護者から見ると、誰が担任なのか（相談相手）がはっきりしない点
 - ②教職員や生徒、保護者が仕組みに慣れるまで時間がかかる点
 - ③このシステムが持続可能なものなのか（校長が替われば元に戻すのか）という点
- 当然ながらシステムをよりよいものに作り上げるために、これらデメリットを解消しながら実践していきます。



従来の仕組みだと、生徒は我慢しなければいけないこともあります。『あの先生に相談してみたかった』『あの先生の方が話しやすいのに・・・』と思っても、担任でないからというだけで、なかなか相談できない場合もあるのではないのでしょうか？。しかしチーム担任制なら、相談のチャンスが格段に増えます。本当の思いを伝え合える先生との出会いが増えるのです。

また、ローテーションにより、道徳や学活、総合的な学習の時間でさまざまな教員が授業をして、生徒と関わる機会が設けられることにより、生徒の変化やSOSのサインにいち早く気づくことが、格段に増えると考えます。

さらに、保護者のみなさまには「何かあったら、誰でもいいので、話しやすい教員に連絡してください」と声をかけるようにします。そのためにも、常に教師団で情報交換と情報共有をきちんと行い、学年の教員全員が、生徒一人一人の担任であるという意識をもって関われる体制づくりを進めていきます。

学校は、社会で活躍できる生徒を育てる場所であり、松茂町の未来を支えることができる生徒を育てる場所であり、日本の未来において輝くことができる生徒を育てる場所です。だからこそ、この学校を、学年の教員全員がチームを組んで、生徒にとって最適な教育ができる場所にしたいのです。



松茂中学校公認キャラクター

「まっちゅん」